

平成27年度 第7回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成28年3月15日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成27年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成27年度公民館まつり開催報告・・・・・・・・・・資料2
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・資料3
(4) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・資料4
(5) 平成28年度公民館事業計画(案)・・・・・・・・・・資料5
(6) 小平市公民館運営審議会ハンドブック・・・・・・・・・・資料6
(7) 平成27年度第6回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料7
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成27年度 公民館定期講座実施状況について
(3) 平成27年度 公民館まつりについて
(4) 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告に
ついて
(5) 平成28年度公民館事業計画(案) について
(6) 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組につ
いて(答申)
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 3月市議会定例会について

①公民館に関連した一般質問について

- ・「地域力のさらなるアップを目指して、眠れる市民のパワーを結集しよう」

(答弁) 公民館では、シニアの方々が集い、お互いの経験、知識、アイデアを生かして学び合う場として、中央公民館においてシルバー大学、各分館においてシニア講座を開設している。

- ・「地域センターや公民館などのさらなる利便性向上を」

(答弁) 公民館での飲食については、公民館は社会教育施設であり、宴会や食事会を目的とした利用はできないが、学習の合間のお茶や茶菓子程度の飲食はできる。また、鍵の貸出時間は、原則として、準備や片付けを含めての貸出時間であり、利用者の利便性を図るために、利用時間の15分前から貸し出している。

②予算特別委員会について

平成28年度公民館予算の概要

歳入…4,046,000円(前年度比▲319,000円)

歳出…423,351,000円(前年度比▲42,366,000円)

歳出の減の主な理由は、旧仲町公民館の解体工事、小川公民館の太陽光発電装置の設置工事、中央公民館の耐震診断である。

(2) 中央公民館の耐震診断の結果について

耐震診断による安全性の基準値は、震度6の地震を想定した場合、I_s値0.6が一つの目安であり、0.3未満は地震の震動及び衝撃に対し倒壊する危険が高く、0.3以上0.6未満では倒壊の危険性があり、0.6以上では倒壊の危険性が低いとされている。

診断の結果、中央公民館のI_s値は0.38であることから、耐震改修をする必要があり、平成28年度に耐震補強設計、29年度に臨時休館を伴う耐震補強工事の実施を検討している。

(質疑応答)

委員 休館について、工事期間の代替施設について何か案はあるのか。

館長 来年度は改修設計を行う。その中でできれば休館をしないで工事ができないか検討している。そのため、改修設計と並行して検討する。

委員 仲町公民館の嘱託職員が仲町図書館嘱託から変わるとのことだが、何が違うのか。

館長 仲町公民館については、仲町図書館の嘱託職員を増員して交替で図書館と公民館業務に従事していたが、職員間の連携がうまく取れないことがあり、仲町公民館業務の課題となっていた。そのため、仲町公民館で嘱託職員を採用することとした。

2 平成 27 年度 公民館定期講座実施状況について
事務局より資料 1 について説明した。

(質疑応答)

委員 公民館のサークル全体に対する講座から発生したサークルの割合はわかるか？
新しくできるサークルとなくなるサークルはどちらが多いか？

事務局 サークル全体に対する、講座から発生したサークルの割合は不明である。各分館は 1 館あたり 1～2 団体が講座からサークル化している。中央公民館の場合、26 年度に 24 講座実施したうち、サークル化したのは 3 団体である。

3 平成 27 年度公民館まつり開催報告
事務局より資料 2 について説明した。

(質疑応答)

委員 小平市公民館まつり（旧八館会まつり）を近所の住人が知らないと言われた。どのような PR をしているのか。

事務局 市報・ホームページやチラシを分館、公共施設などに配布して周知を図っている。近隣へのチラシ戸別配布はしていないが、ご意見を参考に共催している八館会と相談していく。

委員 他のイベントだと市報の 1 面を大々的に使って PR しているところもあるので、折角 5 日・6 日でやるのならば、市報も 1 面を使ってアピールしたらどうか。

事務局 PRの仕方については、今後検討していきたい。

委員 新聞社に小平市公民館まつりの情報提供はしているのか。

事務局 例年実施しているまつりについては情報提供をしていない。なかまちテラスのイベントなど、初めて開催するイベントは情報提供している。

委員 小平市公民館まつりは大きいものだと思うので、新聞にのると効果がある。内容も毎年同じようなものではなく、その年ごとに人の目を引くような工夫をしてみても、公民館に目を向けてもらうチャンスだと思う。世の中の流れと公民館のやっていることの合致するところで何か特別な企画を考えてアピールしてほしい。

事務局 PR不足については、八館会と相談の上検討する。

会長 市内のいろいろなメディアや近隣のメディアも使っていくことを考えていただければと思う。

委員 分館の公民館まつりの開催日が違う必然的理由は何か。あるいは一緒にまとめて行わない理由は何か。

事務局 分館で学校行事等を見て、一番ふさわしい時期を選んでいる。また、物理的にパネルが足りなくなってしまうということがある。

会長 開催日は開館日に合わせて実施する館もあるときいたことがある。

事務局 ハード面での同時開催が難しいことが1つ、もう1つは春と秋の一定期間を設けて、その期間は毎週どこかの分館でまつりが開催されている。

4 平成27年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より、資料3及び4について説明した。

(質疑応答)

委員 第8回東京都公民館連絡協議会 職員部会報告において、調味料や布巾などの

衛生面について情報交換されているが、小平市の対応はどうなっているのか。

事務局 実習室に調味料は用意していない。給湯室の台布巾は公民館に置いているが、食器布巾は衛生上サークルに持参してもらう。

委員 スポンジについても、年度替りには交換してほしい。

5 平成 28 年度 公民館事業計画（案）について
事務局より資料 5 について説明した。

（質疑応答）

委員 上宿公民館のだれでもトイレの改修について教えてほしい。

事務局 ドアと便器の改修を予定している。

委員 保育室のトイレが和式しかないので変えてもらいたい。

事務局 全館で和式の割合が高い状況であり、洋式化については検討していく。

委員 メールマガジンのページビューはどのくらいあるのか。

事務局 パソコン版は 600 くらい、携帯版は 1,200 くらいである。

委員 パソコン講座などの受講する方にメールマガジンの案内をするような広報活動はしているのか。

事務局 基本的に公民館で作成するチラシにメールマガジンの案内は付けている。

委員 中央公民館の男性トイレにメールマガジンの案内やダウンロードの方法が貼ってあるが、他の分館にはない。広報活動は市民に来てもらうことが前提なので、他の分館でもやった方がいいのではないかな。

事務局 分館と調整する。

委員 目標の 1 と 2 が同じことを言い方を変えているだけのような気がする。また、

目標に公民館自体の力を上げる基盤を入れるようにしたらどうか。

事務局 1番目の目標はコミュニティづくりがメインで、2番目は教養的な知識を生活的な課題と結びつけて実践していくということになる。1つにすることは、今後の課題とする。次に公民館の力をつけるということだが、この目標が利用者を対象として設定しており、公民館が力をつけることは当然なので特に目標に入れていない。しかし、公民館のことについても必要というご意見があれば、今後目標の中に入れていくことを検討課題とする。

委員 職員の力量向上について他の行政の事業計画に入っているのならいいが、ここにも入れておくべきだと思う。

会長 事業計画は市民に対して示すものではあるが、公民館自体のレベルアップについては市民にも跳ね返ってくるので検討していただきたい。

事務局 今回は検討期間が必要となるため難しいが、次回の計画の目標に入れたい。

委員 ほぼ完成しているかも知れないが、28年度の事業計画から表現してもらいたい。

会長 目標についてはこれまでの経緯があるのでこのままで結構だと思う。職員の力量向上については、9頁の最後に付け加える方向で公民館と調整する。

6 学習活動を通じて、地域づくりに貢献する公民館の今後の取組について（答申）
事務局より感想を發表した。

（質疑応答）

会長 鈴木公民館の事業計画（案）で、講座の枠がないことについてはいかがか。

分館長 小川公民館では、次年度の事業企画委員会の委員も不安ということで、今までの枠に近い講座を示して進めていく予定である。

事務局 鈴木公民館の事業企画委員会を立ち上げたときには「枠」の考えがなかった。今後、「枠」をつくるかについては、小川公民館を検証した後、どの辺までつくるのか、また「枠」そのものをつくるのかについて検討していきたい。

(各委員より任期満了に伴う感想を発表した。)

- ・各公民館の事業がこれほどまでにみんなで考え、討議して決まっていたことに驚いた。来年度から事業企画委員会も進むので、さらに地域との顔が見える公民館として、充実した内容の事業が開催されることを期待している。
- ・全体的にスピードが遅いと感じた。公民館は教育委員会ではあるが、市長部局などもっと連携するような施策をしていただきたい。
- ・2年間ですべての公民館まつりに参加し、公民館の場所と雰囲気が把握できたので、これからはいろいろな講座に参加したい。今後は、事業企画委員会にも参加したいと思う。
- ・公民館を考えていくうえで、若い人にもっと利用してほしいとの声を聞くが、公民館運営審議会も保育付きにする、午前中に開催するなどの方法で委員応募のハードルが低くなればよいと思う。
- ・鈴木公民館の事業企画委員会で、企画内容がどんどん進んでいく様子を目の当たりにして、日頃から顔の見える繋がり、地域力があつたことでここまでできたのだと思った。
- ・次年度から始まるジュニア大学・科学研究室などは学校と連携して取り組んでほしい。また、公民館まつりについて、各館で学校と連携しているが、作品を提供してもらっただけでなく、小・中・高校生に企画から関わってもらえるような内容にしてもらいたい。
- ・公民館は常にあることが大事。必要な時に栄養をもらいに行く場所であってほしい。
- ・小さな居場所づくりと学習ができる場所であってほしい。
- ・公民館行政に関わる人は縦割りの発想が多いことに対し、利用者は横の情報のつながりであること。縦と横の折り合いの難しさに悩んできた。もっとシンプルに情報を得る方法があるのではないか。それがチャンスロスをなくすと思う。
- ・市民と職員が一緒に考えて企画し、進めていくその過程が市民にとっても、職員にとっても学びであり、その拠点が公民館である。

- ・ 28 年度小平市事業計画の中で地域防災講座の実施とサークル活用・サークル支援（地域連携講座）に注目している。28 年度の大きな目玉になって動いてもらいたい。もう 1 つは受益者負担について検討していることが公共施設マネジメントで取り上げているが、公民館は学習する場、つながる場なので引き続き免除の方向でお願いしたい。

7 その他

事務局より報告

- （1） 小川公民館の太陽光発電装置設置工事について
- （2） 旧仲町公民館解体工事について
- （3） 次期公民館運営審議会委員について

小平市公民館運営審議会ハンドブック

公民館運営審議会会長より中央公民館長に提出された。